

JICA 基金活用事業 案件概要

I. 事業の概要	
1. 事業名称	自主夜間中学と国際交流協会の連携による多文化共生社会の構築推進と『中学教科単語帳』（日本語⇒ウルドゥー語）の発行
2. 活動国・地域	栃木市を軸に、県央の宇都宮市と県南の小山市・佐野市・足利市で活動。
3. 事業分野	<input type="checkbox"/> 開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業 <input checked="" type="checkbox"/> 日本国内の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に関する事業
4. 事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流協会との連携を強化し様々な角度から多文化共生社会を構築推進する。 ・多文化共生社会構築実践モデルを全国国際交流協会と夜間中学関係者に発信する。 ・『中学教科単語帳』（日本語⇒ウルドゥー語）を 2026 年 3 月までに発行し、2026 年 4 月に開校する栃木県立夜間中学で活用できるようにする。その後、全国の公立・自主夜間中学への普及を図る。
5. 事業の背景・経緯・対象地域の課題・人びとのニーズ	『中学教科単語帳』（ネパール語・シンハラ語）の学習効果は広く認められており、多言語版・単語帳の発行が引き続き強く望まれる。一方、本会は、栃木市国際交流協会と連携してとちぎ蔵の街自主夜間中学を開校し、全国で初めて自主夜間中学と国際交流協会が連携して多文化共生社会を構築推進する体制を準備した。
6. 事業の意義・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自主夜間中学と国際交流協会の連携による多文化共生社会の構築推進 ・『中学教科単語帳』（日本語⇒ウルドゥー語）の発行
7. 主な対象者（受益者）	<ul style="list-style-type: none"> ○多文化共生社会の構築推進：栃木市を中心に栃木県内在住外国人住民等 1400 名、全国の国際交流協会及び夜間中学関係者 ○教材開発：在住パキスタン人生徒（150 名）と指導にあたる教員や日本語指導員（150 名）
8. 実施期間	2025 年 11 月～2026 年 11 月
9. 活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栃木市国際交流協会との連携に基づく多文化共生社会の構築推進 2. 『中学教科単語帳』（日本語⇒ウルドゥー語）の発行（1000 部） 3. 『中学教科単語帳』（ネパール語、シンハラ語・ウルドゥー語その他）の普及・活用促進事業
9. 事業費	1,000,000 円
II. 団体の概要	
1. 実施団体	とちぎに夜間中学をつくり育てる会
2. 主な活動内容	「とちぎ自主夜間中学宇都宮校」（2021 年 8 月）・宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センターとの連携に基づく「多様な学び教室」（2023 年 4 月）・栃木市国際交流協会との連携に基づく「とちぎ蔵の街自主夜間中学」（2024 年 10 月）の開校。栃木県教育支援サポーター養成講座（2024 年 10 月～2025 年 2 月）運営。『中学教科単語帳』ネパール語版（2024 年 3 月）およびシンハラ語版（2024 年 12 月）の発行。夜間中学研修会の開催（2024 年 11 月までで 17 回開催）